

目指すべき姿

市民の生活の質（QOL）の維持・向上を図り、医療費適正化を目指す  
 ～自分の健康に関心を持つ人を増やし健康寿命を延伸するために、生活習慣病の発症と重症化を防ぐ～

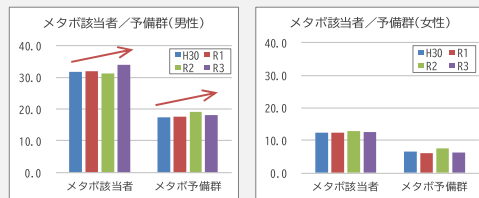
健康に関する課題

A：生活習慣病

- ・60歳代、70歳代の特定健診受診率が減少傾向である。
- ・脳血管疾患、虚血性心疾患、人工透析において高血圧症が重なっている割合が最も高い。

疾患の重なり	脳血管疾患		虚血性心疾患		人工透析	
	患者数	割合	患者数	割合	患者数	割合
高血圧症	228人	76.25%	378人	78.26%	27人	100.00%
糖尿病	134人	44.82%	241人	49.90%	16人	59.26%
脂質異常症	195人	65.22%	334人	69.15%	16人	59.26%
合計	299人		483人		27人	

・メタボ該当者・予備群の割合は男性で増加傾向、女性は横ばいである。



B：糖尿病重症化予防

- ・EBSMR※1が女性において腎不全116.9と高値である。
- ・疾患別医療費は人工透析が最も高い。
- ・男女ともにHbA1c※2、eGFR※3の有所見率が上昇傾向である。

※1 EBSMR：年齢構成の異なる地域間の死亡状況を比較するための指標。基準を100とする。  
 ※2 HbA1c：ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもの。過去1～2カ月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。  
 ※3 eGFR：腎臓機能を示す指標。数値が低いと腎臓の機能が低下していることを意味する。



医療費適正化に関する課題

C：医療費、受診行動

- ・ジェネリック医薬品の使用割合は81.2%であるが、昨今、ジェネリック医薬品が供給不足である。
- ・薬物有害事象の発生や副作用につながると懸念される長期多剤服薬者が存在する。
- ・重複受診者、頻回受診者、重複服薬者は一定数該当者が存在している。

データヘルス計画全体における目標

1. 本市の第3期データヘルス計画の目標

項目	目標	評価指標	計画策定時 R4(2022)	第3期計画 目標R11(2029)
A	特定健診受診率の向上	特定健診受診率	44.6%	50%
A	特定保健指導の終了率向上	特定保健指導終了率	34.8%	40%
A	喫煙者割合の減少	男性の特定健診受診者の喫煙者割合	(R3) 21.3%	16%
A/B	健診異常値放置者の減少	異常値放置者の医療機関受診率	48.6%	60%
B	人工透析患者数の増加抑制	透析患者の人数	(R3) 26人	26人以下
C	ジェネリック医薬品使用割合の向上	ジェネリック医薬品使用割合	81.2%	80%以上を維持

2. 滋賀県・市町国保における共通目標

評価指標	目標	計画策定時 R4(2022)	第3期計画 目標R11(2029)
特定健診受診率	特定健診受診率	44.6%	50%
	3年連続未受診者割合	33.9%	40%以下
	40歳代健診受診率	21.9%	25%以上
	特定健診未受診者かつ医療機関受診なしの者の割合	39.5%	35%以下
第3期からの新たな目標	特定保健指導実施率	34.8%	40%
	特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	16.7%	26%以上
	HbA1c8.0%以上の者の割合	1.6%	1.0%以下
	高血糖者の割合(HbA1c6.5%以上の者の割合)	9.9%	9.2%以下
	HbA1c6.5%以上の者のうち、糖尿病のレセプトがない者の割合	15.1%	12.9%以下
	血圧が保健指導判定値以上の者の割合	50.8%	44%以下

データヘルス計画における保健事業

事業番号	事業名
1	特定健康診査 受診勧奨事業
2	特定保健指導 利用勧奨事業
3	健診異常値放置者への医療機関受診勧奨事業
4	糖尿病性腎症重症化予防事業
5	ジェネリック医薬品使用促進通知事業
6	服薬情報通知事業
7	がん検診受診勧奨事業
8	タバコ対策事業

参考資料：平均寿命と平均自立期間、日常生活に制限がある期間の平均(令和4年度)(左図：男性)(右図：女性)

